

新 謹
年 賀

新年明けまして おめでとうございます

昨年は60年に1度の壬辰の年で「飛龍」の年へと期待をしましたが、国家としての日本は相変わらずの政治の迷走に終始し、外交面では隣国の中国、韓国との領土問題も対立したまま、また内政においても今日まで歴代内閣の場当たりのバラまき政策により累積した財政の悪化は増々その深刻さを増し、少子高齢化の流れの中で、解決が急がれる未解決の問題を多く残したままの越年となりました。新たな政権に期待すると同時に、我々国民一人ひとりも依存体質から自立型そして貢献型の体質への脱皮の努力をする必要性があると思います。

さて、昨年、徳真会グループは2月にテレビ東京の「カンブリア宮殿」の放映や、11月にはEntrepreneur Of The Yearの日本代表へ選出、また、上海市政府から最優良医療機関として表彰を受けたり、対外的に評価頂く機会が多かった年ではありましたが、内部的には多くの患者様の期待に対応しきれなかった点も多く反省の多い年でもありました。

今日日本の歯科界は、ドクターをはじめとする医療スタッフの教育が不十分なまま社会に出てくる現状にあり、世界のトップレベル集団と互してゆくには、医療現場で卒後のしっかりした再教育をやり直す事が必須な状況下にあります。

そうした日本の教育の歪みを強く感じる厳しい状況ではありますが、いかなる悪条件下でも日本人として、また日本の医療人として、世界のトップランナーとして評価される医療機関の創造をこの日本から創りあげる気概で、今年も創業33年目の挑戦を続けてゆくつもりであります。

昨年も年間延べ80万人を超える患者様に御来院頂きました。

心より感謝致しますと共に、今年も人材の育成へ更なる努力を行ってゆきます、お気づきの点は何なりとお申し出頂ければ幸いです。

今年徳真会グループが取り組む課題として

1. 患者様対応面
 - 1) 仙台地区 石巻デンタルクリニックオープン (5月)
長町デンタルクリニックオープン (11月)
 - 2) 東京地区新規医院オープン
 - 3) 在宅(歯科、介護)支援センタースタート(仙台、東京、新潟地区)
 - 4) 専門医(矯正、インプラント、小児、歯周、補綴、外科、歯内療法、審美)の層の拡充(全地区)による高度歯科医療提供の拡大
 - 5) スタッフ増強による患者様サービスの充実(全地区)
2. 組織運営面
 - 1) 技工部門CAD/CAM化による海外受注の拡大と品質向上
 - 2) 提携大学の拡充と新たな診療形態の実現化(一般医と専門医の連携強化)
 - 3) 在宅(歯科、介護)支援センター開設による、介護分野への進出
 - 4) 海外の大学及び医療機関との提携強化(米国、ノルウェー、英国、シンガポール、香港、台湾、中国、オーストラリア、ドバイ)
 - 5) 徳真会研修制度(Human Development Academy)の充実と外部への開放

以上の課題の取り組みを行ってまいります。

今年も皆様の御指導の程よろしくお願い致します。皆様にとって良い年となります様、心より祈念致しております。

徳真会グループ
理事長 松村 博史